

<Bコース①介護と仕事の両立推進事業>
(社外用・都ホームページ掲載用)

企業名	フューチャーエナジー株式会社
所在地	東京都立川市富士見町四丁目 7 番 28 号
業種	I. 卸売業, 小売業 サプリメントの卸売、小売
常用労働者数	3 名
事業内容	栄養補助食品、健康及び美容関連商品の会員制訪問販売 ・ リムーブデラックス…野口医学研究所品質保証品 ・ インデューサーMAX…国際物質特許取得実績成分配合 ・ アミノミネラル ・ 水素エンザイム
ホームページ	http://www.future-energy.net

1 ニーズ調査

①実施日及び実施方法	平成 30 年 10 月 15 日、調査票を全従業員に配布
②対象者数、回収数、回収率	対象者 3 名、回収数 3 名、回収率 3/3=100%
③調査結果概要 (調査により明らかになった課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 介護経験なしが 2 名、現在は介護していないが介護経験者が 1 名いた。 ・ 今後の従業員の介護見込みについて 3 名の従業員のうち介護する可能性がある従業員が 3 名おり、介護に対して非常に不安を抱いていることがわかった。 ・ 就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 介護保険制度の認知度について、従業員の認識に幅がある事がわかった。介護経験がある従業員は制度など知っていても、介護経験のない従業員は制度自体知らないという事がわかった。 ・ 介護と仕事の両立に関する不安について “介護が始まり代替要員などがいないため仕事を休めるのか” “自分が介護休業を取ると収入が減る心配がある” “介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しが立てにくい事” などの不安を抱えているようで、介護も自分が行わなければならない状況を見ると、今の仕事を続ける事が出来ないと思っている従業員がいるのがわかった。 ・ 介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について もし家族の介護が必要になっても” 支援制度を利用して介護と仕事の両立を図りたい” “介護休業制度を利用して仕事に復帰する” など回答があった。公的制度や地域包括センターの活用など、従業員全員が制度の内容を理解する必要があるようだ。

2 プロジェクトチームの設置及び運営状況	
	①設置日・メンバー
	(設置日) 平成 30 年 10 月 15 日 (メンバー) 総計 3 名 ・都内勤務者 社長、正社員 2 名 (計 3 名)
	②運営の状況 (開催日、検討内容及び参加者数)
	平成 30 年 10 月 15 日 11 : 45 ~ 12 : 00 (参加 2 名) : 今後の日程確認とアンケート調査実施 平成 30 年 11 月 9 日 11 : 30 ~ 12 : 00 (参加 2 名) : 調査結果概要説明 平成 30 年 12 月 7 日 11 : 30 ~ 12 : 00 (参加 3 名) : 取組計画案の検討 平成 30 年 12 月 13 日 11 : 30 ~ 12 : 00 (参加 3 名) : 取組計画案に関する意見交換と取組決定
3 策定した取組計画 (内容及び取組時期)	
	平成 30 年 12 月 ~ 従業員への情報提供として、介護に関する掲示物の掲示・更新を実施 平成 31 年 12 月 ~ 周知している掲示物の内容について、効果の検討と必要に応じて修正・充実